

くにたち しらべ



NO.5

発行日 2008 年 2 月 21 日

編集 = くにたち図書館地域資料ボランティア

発行 = くにたち中央図書館

テーマ

『国立の戦跡』

国立の戦跡をたずねて

日本は昭和20年(1945)戦争に負けました。国じゅう、空襲に会い焦土となりました。国立市は戦争の傷跡はない町だろうと歩き訪ねてみると、地図のように戦争の跡が沢山ありました。

(国立市のようす)

国立市は他の市町村のように、空襲で町が焼かれ焦土となる事はありませんでした。しかし、昭和20年(1945)になると艦載機による銃撃や時限爆弾による空襲は度々ありました。

国立市は学校が集中していたので、学校を軍事施設として利用され、校舎が兵器を作る工場や軍人が駐留する所となりました。

昭和18年(1943)になると東京商科大学(今の一橋大学)生は学徒出陣といって、兵隊となり戦地で戦う事になりました。翌年からは、大学や高校・中学の生徒は、勤労動員といって、兵器を作る工場で働きました。自分の学校の工場だけでなく、立川飛行場や三鷹の中島飛行機等の軍需工場にも働きに行きました。国民学校生(今の小学校)は勤労奉仕といって、田畑の手伝いや松根の油、どんぐり集め、谷保天満宮の戦勝祈願参拝と清掃、出兵兵士、戦死者の送迎参列等をしました。空襲が激しくなると、東京区内の児童は空襲から逃れるため、集団疎開といって、先生と児童で山村で生活することになりました。

南養寺には港区氷川国民学校の3・4年生の女子83名、また、近くの見心寮に4年生男子30名が疎開してきました。また、区内から移り住む人も増えたそうです。

この緑豊かな美しい国立の町に、今はあまり知られる事もなくたたずむ場所を、地図と写真に収めました。

(日本の戦争)

昭和6年(1931)9月、満州事変が起きました。中国東北部(満州)瀋陽(奉天)柳条湖近くの鉄道を日本軍が爆破し占領しました。それから、日中戦争、太平洋戦争へと続きました。

太平洋戦争は、昭和16年(1941)12月8日、日本軍がアメリカのハワイ真珠湾を攻撃して始まりました。日本は東南アジアからニューギニアまでの太平洋の島々を占領し、大東亜共栄圏を作りました。

アメリカは、連合軍と共に日本に反撃し、日本軍は負け続けました。とうとう日本全土を毎日のように空襲される事となり、町は火の海、焦土と化し、そして原爆が広島、長崎に投下され、多くの国民に死者が出、アジア国民を含め大きな犠牲をはらいました。

昭和20年(1945)8月15日、15年に渡る長い戦争は日本の敗戦で終わりました。

(調べてみましょう)

国立の戦跡や当時の様子を知りたい人は、図書館、公民館、くにたち郷土文化館にある本や資料で調べたり、まわりにいる年配者に体験を聞いたりしてみましょう。

(参考文献)

- * 戦争の記憶 『ピース国立・2004.3』 10B7
- * 五十年目の証言 『国立公民館・1955.3』 10B7
- * ちまたにはひかりあふれて 『松岡きく・1986.12』 10Y3
- * 戦争と私 『草の実会』 217.5
- * 貴子の追想 『赤松要・1973』 K S 289 (公民館在庫)
- * くにたちの歴史 『国立市・1995.2』 10B1
- * 国立市史(下) 『国立市・平成2年5月』 10B1
- * 多摩のあゆみ(119号・109号) 『たましん地域文化財団・2003』 02A5
- * フォトが 1 東京の戦争と平和を歩く 『東京歴史教育協議会・1995.6』 319.8
- * 企画展苦難の日々も 『くにたち郷土文化財団』 10P4
- * くにたち公民館だより集約版(4.5.6) 『くにたち公民館』 10P1
- * 国分寺・国立・小金井・小平の100年 『郷土出版社・2003.2』 02B1
- * 五商半世紀のあゆみ 『都立五商五十周年記念誌』 K S 376 (公民館在庫)
- * 谷保 『国立第一小学校創立百周年記念誌・1974』 10.02
- * 桐朋中高等学校五十年史 『桐朋中高等学校・1991.10』 1002
- * 東京大空襲、戦災誌(3巻) 『東京空襲を記録する会 1973.11』 01B7
- * 一橋大学百年通史稿本(1987-1991) 東京・如水会〔一橋大学図書館所蔵〕
- * 学徒出陣後の学園生活(1987)〔一橋大学図書館所蔵〕
- * 戦争の時代と一橋(著・丸山泰男、1989)〔一橋大学図書館所蔵〕
- * 第二次大戦と一橋(1983)〔一橋大学図書館所蔵〕

国立にも戦跡があった

1944.1 緊急学徒勤労働員方策要綱



都立第五商業高等学校（当時都立第五商業学校）中 3-4
= 動員学徒犠牲者慰霊碑 =

校舎 2 階に軍駐屯、海軍の下請工場

五商付近に時限爆弾投下

1944 年、4 年生全員中島飛行機武蔵製作所（三鷹）に

3 年生 3・4 組が陸軍燃料廠（府中）に動員

3 年生 1・2 組が日立航空機立川発動機製作所に動員

1944.12.3 中島飛行機に空襲、10 名犠牲

1945.4.19 日立航空機立川製作所にて 1 名犠牲

1956.10.15 同校同窓会が正門横に慰霊碑建立



桐朋学園（当時山水中学校）中 3-1-10

1945.5 陸軍第二百一師団（武蔵）司令部駐屯

海軍小部隊駐屯

『学徒動員』

1944.4.20 4・5 年生、立川陸軍審査部工場

1944.8.28 3 年生全員 拝島・陸軍航空整備部隊

1944.12.6 3 年 1 組、陸軍航空工へい立川工場

3 年 2・3 組、拝島昭和飛行機工場

1944.12.10 2 年全員日本無線工場（三鷹市）



都立国立高等学校（当時都立国立中学校）東 4-25-1

陸軍小部隊 50 人駐屯（1945 年 5 月～）



国立市立第一小学校（当時谷保国民学校）谷保 6026

1945.4.4

谷保村に爆弾 70 発落下したとき学校のガラス、瓦屋根
等破損

1945.8.2

焼夷弾多数落下した時学校のガラス破損

1944.11.11 学校施設へ工場疎開決定



一橋大学〔当時東京商科大学〕兼松講堂
中 2-1

1944. (昭和 19) 3.10

中島飛行機株式会社 (第一軍需工廠)
エンジン工場になる。

一橋大学生勤労働員



一橋大学〔当時東京商科大学〕東校舎

1944 年 (昭和 19) 2 月 29 日

陸軍東部第 92 部隊予科校舎

電波兵器研究とそれを使用する将校及び
下仕官養成をする部隊

一橋大生動員 200 余名



佐野書院 (国立市中 2) 816 名戦没者の碑

日中戦争が昭和 12 年 7 月 7 日 (1937) にはじ
まると、国民精神総動員連盟が結成され翌年法
制化された。一橋大学生は勤労報告隊となり、
中国へ一カ月程、勤労奉仕に出かけるようにな
った。昭和 15 年 (1940) には 1428 名も参加し
ている。

昭和 16 年 (1941) になると、学年短縮 (修
業年限) の繰上げがはじまり昭和 17 年には 2 年
半短縮。又、徴兵猶予の停止が行われ、大学を
卒業することのないまま兵士となり戦地へ行く
という、学徒出陣体制となった。

* 学徒出陣式 明治神宮 (昭和 18 年 10 月 21
日・1943) 文部省主催、一橋大生 600 人。

東京都内大学 77 校参加

* 第二次大戦に参戦した一橋大生 4000 名 (内
戦没者 672 名)



(南養寺)
谷保 6218
見心寮に4
年生30人。
赤坂区氷
川国民学
校3・4年女
子83人集
団学童疎
開で来る



(滝乃川学
園)
谷保 6312
警備隊に園
舎貸与。園児
食糧不足に
よる栄養失
調で死す。



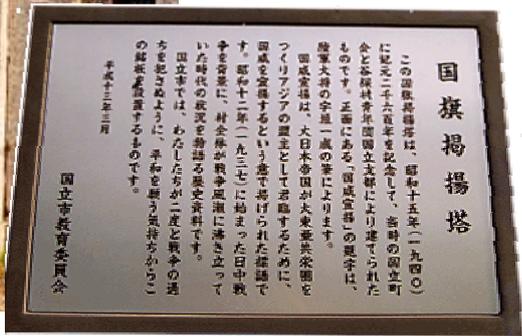
(谷保天満宮)
谷保 5209
戦没者慰霊碑
1955年建立



(大正天皇御 立場)
青柳 347
1914年(大正 年)
谷保村多摩川原で
陸軍特 大演習を
した時、大正天皇が
視察した場所。

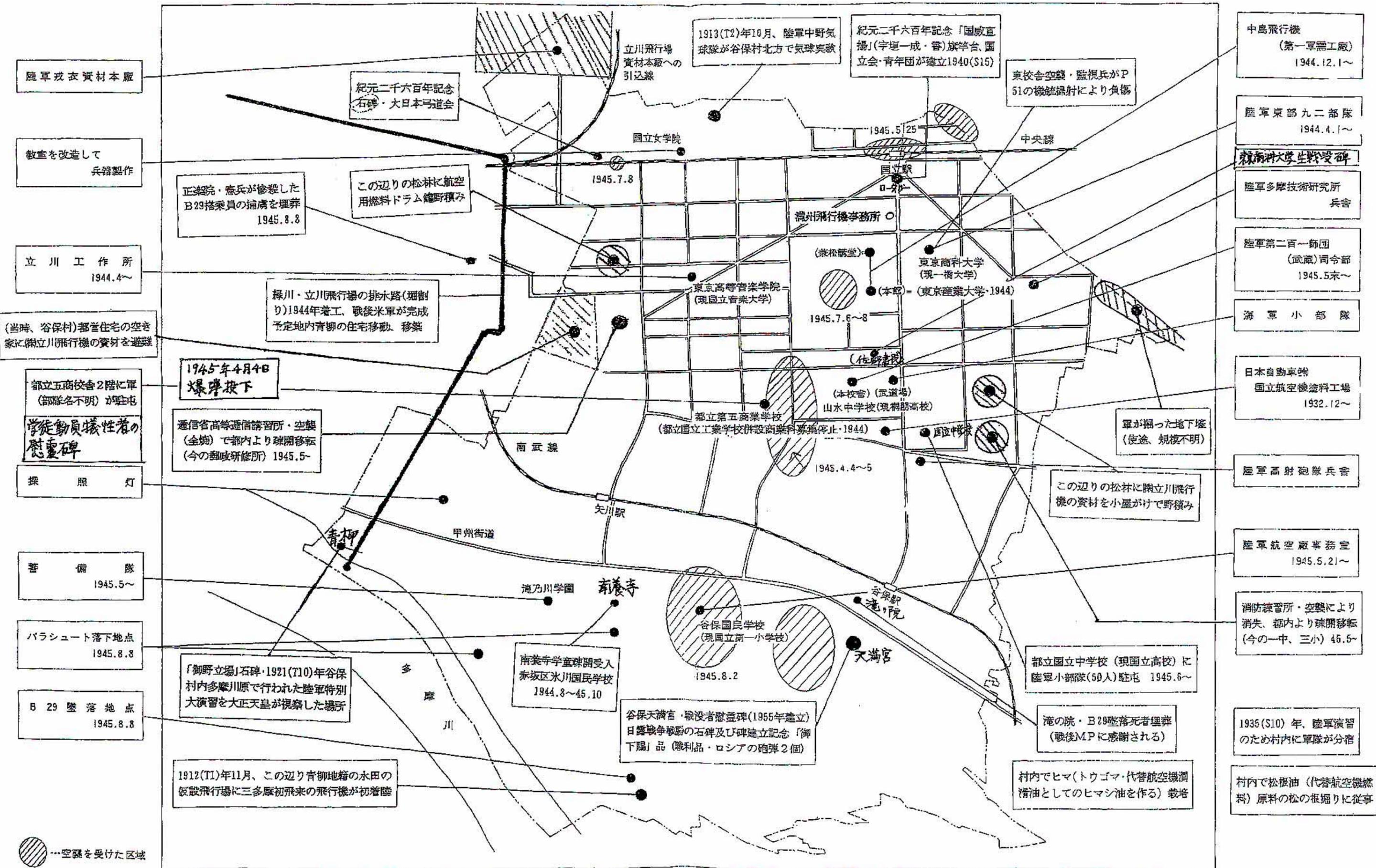


国立駅(南口)ロータリー内にある。
紀元2600年記念碑



国立の戦跡をたずねて

くにたち郷土文化館 (1995.8.10) 発行『企画展 苦難の日々も……国立の戦中・戦後をふりかえる』P44~45「国立の軍事施設と空襲地図」をもとに作成



- 陸軍衣資材本廠
- 教室を改造して兵器製作
- 立川工作所 1944.4~
- (当時、谷保村)都首住宅の空き家に(国立)飛行機の資材を避難
- 都立五商校舎2階に軍(部隊名不明)が駐屯
- 学徒動員犠牲者の慰霊碑
- 探照灯
- 番備隊 1945.5~
- パラシュート落下地点 1945.8.8
- B29墜落地点 1945.8.8

- 中島飛行機 (第一軍需工場) 1944.12.1~
- 陸軍東部九二部隊 1944.4.1~
- 頼朝大学生戦没碑
- 陸軍多摩技術研究所 兵舎
- 陸軍第二〇一師団 (武蔵)司令部 1945.5末~
- 海軍小部隊
- 日本自動車 国立航空機塗料工場 1932.12~
- 軍が掘った地下壕 (用途、規模不明)
- 陸軍高射砲隊兵舎
- 陸軍航空廠事務室 1945.5.21~
- 消防練習所・空襲により消失、都内より疎開移転 (今の一中、三小) 45.5~
- 1935(S10)年、陸軍演習のため村内に軍隊が分宿
- 村内で松根油(代替航空機燃料)原料の松の根掘りに従事